

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●武豊騎手が史上初となるJRA通算4600勝を達成

8月9日(土)の1回札幌5日・第8レースではナリタヒカリが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、中央競馬史上初となるJRA通算4600勝(2万5216戦目)を達成しました。デビューから38年5か月9日での記録達成となります。

●シャーガーカップはアジア選抜が優勝

世界のトップジョッキー12名が腕を競うチーム対抗戦「ドバイデビューフリー シャーガーカップ」が、現地時間8月9日(土)、英アスコット競馬場にて開催されました。日本からはアジア選抜チームのメンバーとして2名が出場し、岩田望来騎手(栗東・フリー)は4、6、8、4、2着で20ポイント、坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)は2、10、1、8、9着で25ポイントを獲得。スラジ・ナレドゥ騎手(インド)による23ポイントと合わせて計68ポイントをあげたアジア選抜が優勝しました。なお世界選抜チームのヒュー・ボウマン騎手が32ポイントを獲得し、シルバーサドル賞(最多ポイント獲得騎手)に輝いています。

●グラスワンダーが死亡

8月8日(金)、グラスワンダー(牡30歳)が死亡しました。同馬は1997年朝日杯3歳S(GI)、1998年・1999年有馬記念(GI)、1999年宝塚記念(GI)を制するなどJRA通算15戦9勝の成績を残し、1997年にはJRA賞最優秀3歳牡馬、1999年にはJRA賞特別賞を受賞。種牡馬としてはスクリーンヒーロー(ジャパンカップ)やアーネストリー(宝塚記念)などを出し、種牡馬引退後は北海道新冠町の明和牧場で余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サンライズアムールがクラスターC(盛岡)で重賞初制覇

クラスターC(JpnⅢ、8月11日、盛岡、1,200円)は、先手を取ったサンライズアムール(高松亮騎手=岩手、牡6歳、父モーリス)がキャンディドライブ(北海道)の追撃をクビ差凌ぎ、1番人気に応えました。3番人気のアドバンスファラオが3着に入り、2番人気のチカッパは4着、ダノンスコーピオンは5着、ヒビキは7着に敗れています。

●北海道スプリントC(門別)でヤマニンチェルキが初タイトル獲得

北海道スプリントC(JpnⅢ、3歳、8月14日、門別、1,200円)は、3番手から直線に入って間もなく先頭に立った2番人気のヤマニンチェルキ(石川倭騎手=北海道、牡、父フォーウィールドライブ)が、1番人気のマテンロウコマンドを1馬身差で抑えました。4番人気のエコロアゼルが3着に入って、3頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●サッポロクラシックCはゴッドバロック【各地の2歳重賞】

サッポロクラシックC(8月7日、門別、1,200円)は、3番手を進んだ1番人気の栄冠賞2着馬ゴッドバロック(牡、父シルバーステート)が直線半ばで抜け出し、初の重賞制覇を果たしました。

●ミナトミナイトがひまわり賞(盛岡)優勝【各地の主要3歳重賞】

岩手のオークスに相当するひまわり賞(8月3日、盛岡、1,800円、牝馬)は、中団から追いつけた5番人気のミナトミナイト(父エポカドーロ)が、残り100円で差し切り勝ちを取っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1アーリントンミリオン〜フォートワシントンがG1初制覇

現地8月9日にアメリカ・バージニア州のコロニアルダウンズ競馬場で行われたG1アーリントンミリオン(3歳上、芝2,000円)はJ. アルバード騎手が騎乗したフォートワシントン(牡6歳、父ウォーフロント、C. マギー三世厩舎)が7頭立ての最後方追走から直線で外から鋭く伸びて優勝しました。昨年のG1ケンタッキーダービー馬でここが芝初出走となったミスティックダンは勝ち馬から3馬身半差の4着でした。G1初制覇を果たしたフォートワシントンは昨年6月のG3モンマスS(芝1,800円)で重賞初制覇。その後は今年1月のG1ペガサスワールドCターフ5着まで6連敗となっていました。3月のG3カナディアンターフS(芝1,700円)で久々の勝利を挙げると、5月のG3ディナーパーティーS(芝1,800円)も連勝。続く6月の前走G2ワイズダンSは末脚不発で4着(同着)でしたが、G1の舞台で巻き返しました。

●G1ソードダンサーS〜エルコルドベスがG1初勝利

8月9日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ソードダンサーS(4歳上、芝2,400円)はイギリスから遠征したエルコルドベス(騾4歳、父フランケル、C. アップルビー厩舎)がF. プラ騎手を背に中団から突き抜けて優勝。7月のG2プリンセスオブウェールズS(芝2,400円)から重賞連勝でのG1初制覇となりました。